

## 主要行等の令和4年3月期決算の概要

### 1. 損益の状況（グループ連結ベース）

- 令和4年3月期は、外債を中心に債券等関係損益が悪化した一方、資金利益と役務取引等利益等は増加したこと等により、当期純利益は前期比28.6%の増益。

（単位：億円）

	R2年3月期	R3年3月期	R4年3月期	前期比
業務粗利益	105,022	105,642	108,328	2,686
資金利益	46,743	49,618	54,392	4,774
役務取引等利益	35,521	35,266	39,182	3,916
その他業務利益	10,064	8,254	4,722	▲3,533
うち債券等関係損益*	7,448	1,887	▲3,123	▲5,010
経費	▲69,708	▲68,739	▲70,260	▲1,521
業務純益	35,952	37,638	38,630	993
コア業務純益*	13,534	19,947	26,165	6,218
コア業務純益*（除く投資信託解約損益）	13,229	19,692	25,232	5,540
与信関係費用**	▲6,830	▲11,789	▲9,761	2,028
株式等関係損益	3,046	2,407	5,101	2,694
親会社株主に帰属する当期純利益	20,697	21,016	27,023	6,007

\*債券等関係損益、コア業務純益については銀行単体ベース。\*\*与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

（参考）	R2年3月末	R3年3月末	R4年3月末
貸出金（末残）***	314.7兆円	319.1兆円	328.0兆円

\*\*\*貸出金は銀行単体ベースの銀行勘定計。

### 2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

- 不良債権残高は令和3年3月末に比べ増加、不良債権比率は上昇。

	R2年3月末	R3年3月末	R4年3月末
不良債権残高	2.1兆円	2.6兆円	3.4兆円
不良債権比率	0.59%	0.75%	0.92%

### 3. 自己資本比率の状況（グループ連結ベース）

- 国際統一基準行の総自己資本比率、Tier1比率、普通株式等Tier1比率は、令和3年3月末に比べ低下。

- 国内基準行の自己資本比率は、令和3年3月末に比べ上昇。

（国際統一基準行：4グループ）

（国内基準行：3グループ）

	R3年3月末	R4年3月末
総自己資本比率	16.98%	15.72%
Tier1比率	14.78%	13.87%
普通株式等Tier1比率	13.05%	12.35%

	R3年3月末	R4年3月末
自己資本比率	11.43%	11.56%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）グループ連結ベースは、みずほFG、三菱UFJFG、三井住友FG、三井住友トラストHD（以上、国際統一基準行）、りそなHD、新生銀行、あおぞら銀行（以上、国内基準行）を対象とする。

（注3）銀行単体ベースは、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、三菱UFJ信託銀行、みずほ信託銀行、三井住友信託銀行、新生銀行、あおぞら銀行を対象とする。

（注4）各グループ公表資料等より、金融庁作成（公表数値の定義はグループにより異なる場合がある）。